



ひしのみだより

令和6年11月1日
文責 園長 江頭一寛

園庭で秋を見つけたよ

やっと朝夕は少し冷え込むぐらいになってきてようやく秋が訪れたと実感できるようになってきました。朝から子どもたちも思い思いに園庭や室内で歓声を上げながら遊んでいます。私が園庭をじっと眺めていると、砂場で一心不乱に『落とし穴』といって掘り続けている子、三輪車を得意げに乗り回している子、ブロック塀の近くでありの巣を見つけありを捕まえようとしている子、ちょっとした草むらでバッタを見つけて宝物のように飼育ケースに入れていている子など、園庭では様々な遊びの様相が見られます。園庭南側のザクロの実も熟し先生にとってもらって、ピンクの宝石みたいな一粒一粒を大事そうに頬張っている子もいました。私もどんぐりを拾っている子たちの近くにいて、クヌギの緑色の実を一つちぎって「はい、どうぞ。」と差し出しました。すると「園長先生、まだ緑色のはとってはいけません。」「茶色になって地面に落ちてきたのを捨うんだよ。」と、ひまわり組の子から注意を受けました。この園庭の中で子どもたちは「秋」という自然環境を、自分たちのルールのもとに楽しんでいるのだなと感心した次第です。



ひしのみブログ再開しました

本園ホームページ上右記にありますひしのみブログですが8月6日に『園内職員研修について』というタイトルを最後に、しばらく更新されていませんでしたが10月より再開しました。10月は10月5日の『以上児さん運動会』、10月10日の『土ならし』、10月15日の『10月のお誕生日会』、10月22日の『避難訓練(地震)』、10月25日の『秋の遠足』を掲載しています。まだご覧になられてなければ、時間が空いたときにでもご覧ください。11月以降も各種園内行事に合わせてできるだけ掲載していき、園での子どもたちの様子をお伝えできればと思っています。従いまして、この園長便りではブログと重複しない内容を掲載していきたいと考えます。



園の教育・保育の質の向上をめざして

今年度も本園の子どもたちが安心感と信頼感をもって生活し遊ぶ中で主体的に環境に関わり思いを実現することができる喜びや嬉しさを味わうことで「もっとやってみたい!」「またやってみたい!」が沸き上がってくるように日々、本園の先生方は教育・保育にあたっておられます。そして、さらなる教育・保育の質の向上をめざし先生方は『研究保育』という園内研修を年間計画の下、実践されています。9月までの前期に4名の先生方が未満児、以上児のそれぞれの組で行われました。後期も11月後半から1月にかけて4名の先生方が実施予定です。毎日忙しくされている先生方ですがしっかり研修を積み、ひしのみこども園の園児たちのよりよい育ちを願って努力されています。

人間関係に関わって

ねらい：保育教諭や友だちとの関わりを楽しみながら遊ぶことができていたか

一緒に飛ばそう!!



7月実施の園内研修より

